

鹿児島県感染症情報

2022年 第44週報 (10月31日～11月6日)

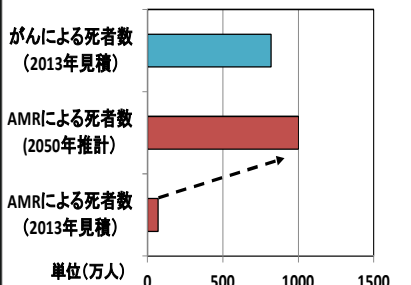
発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、11月6日時点の届出総数が310217例となりました。さて、今シーズンは、インフルエンザとの同時流行が懸念されています。抗体保有率の低下に伴い、大きな流行となるおそれがあります。

インフルエンザの報告数が例年通りに推移した場合、12月下旬が流行の立ち上がりとなり、2月上旬に流行のピークを迎えるという動向が予測されます。両方のワクチン接種を進めることを基本とし、オンライン・電話診療体制の強化を図ります。なお、重症化リスクが高い人等に対しては速やかな発熱外来の受診を推奨しています。

11月は「薬剤耐性（AMR：Antimicrobial Resistance）対策推進月間」です。近年、抗微生物剤が効かなくなるという「薬剤耐性（AMR）」が問題となっています。現在、世界的な問題として、抗微生物剤を使用する医療、農林水産業、そして、環境汚染まで含めた「ワンヘルス」という考え方で課題解決への取組が進められています。



抗微生物剤（抗菌剤（抗生物質及び合成抗菌剤）をはじめとする製剤の総称）の不適切な使用で、薬が効かないAMRを持つ細菌等が世界中で増えてきています。このため、感染症の予防や治療が困難になるケースが増えており、今後も抗微生物剤の効かない感染症が増加することが予測されます。

この問題に対して有効な対策が講じられなければ、2050年には全世界で年間1,000万人がAMRにより死亡することが推定され、2013年時点でのがんによる死亡者数を超えることとなります。

この問題に対して有効な対策が講じられなければ、2050年には全世界で年間1,000万人がAMRにより死亡することが推定され、2013年時点でのがんによる死亡者数を超えることとなります。

抗微生物剤は医療だけではなく、畜産業、水産業、農業等幅広い分野で用いられています。特に、環境の視点からみると、薬剤耐性菌や抗微生物剤によって環境が汚染されるということが起こっており、水系感染や農作物への感染につながってしまいます。このように、「薬剤耐性（AMR）」対策は、「ワンヘルス」の観点から取り組むべき課題となっています。

薬剤耐性（AMR）～ワンヘルスという考え方～



第44週の定点報告疾患の報告状況をみると、県内には3週連続で流行発生警報域及び注意報域の疾患はありません。インフルエンザの全国の報告数をみると、第40週（68人、報告ありが19都府県）、第43週（153人、報告ありが25都道府県）、第44週（270人、報告ありが26都道府県）と増加傾向を呈しています。

☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核1例（肺結核1例）
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	日本紅斑熱2例
五類感染症	梅毒4例、アメーバ赤痢1例、百日咳1例 追加侵襲性肺炎球菌感染症1例（第43週）、梅毒1例（第43週）
新型コロナウイルス感染症等感染症	新型コロナウイルス感染症2112例 （うち、みなし陽性者0例及びコロナ・フォローアップセンターでの確定者93例を含む）

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点89、小児科定点53です。（インフルエンザ定点3減、小児科定点1減）
- ・第44週の定点把握対象疾患の総報告数は252人で、前週と同数の報告数でした（4頁参照）。
- ・流行発生警報の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所 該当なし
- ・流行発生注意報の基準値以上の保健所 該当なし

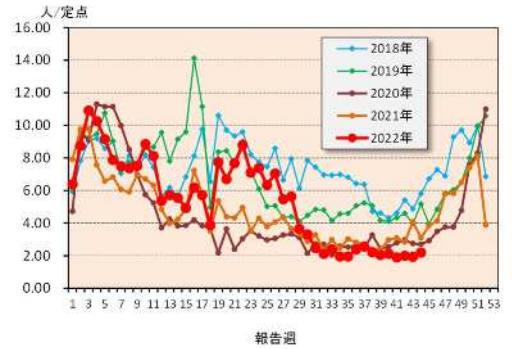
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第44週の感染性胃腸炎の報告数は116人で、前週より14人多く、定点当たりの報告数は2.19であった。

年齢別では、1歳（22人）、10～14歳（18人）、3歳（13人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿屋保健所（5.40）、鹿児島市保健所（4.46）、指宿保健所（4.00）の順に多い。



(2) 手足口病

第44週の手足口病の報告数は42人で、前週より18人少なく、定点当たりの報告数は0.79であった。

年齢別では、1歳（17人）、2歳（13人）、6～11ヶ月（6人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（2.14）、鹿児島市保健所（1.46）、大口保健所（1.00）の順に多い。



(3) ヘルパンギーナ

第44週のヘルパンギーナの報告数は24人で、前週より8人多く、定点当たりの報告数は0.45であった。

年齢別では、1歳、2歳（それぞれ8人）、3歳（4人）、6～11ヶ月（2人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（1.14）、鹿児島市保健所、徳之島保健所（それぞれ1.00）の順に多い。



【薬剤耐性（AMR）関連情報】

これは抗菌薬を服用して、効果が見えないかを地上で確かめた試験結果です。この菌は薬に対して耐性があり、服用しても効果がないことを表しています。

・ AMRとは...
Antimicrobial resistance
病原体が変異を起こして**抗微生物剤**が効かなくなることです

薬剤耐性試験

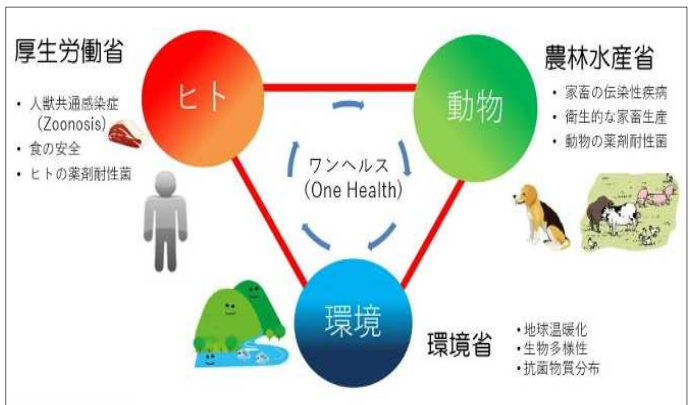
感受性 → 耐性

AMK, CPFM, CFPX, MEPM, PIPC, CAZ

抗微生物剤の発売年/薬剤耐性病原体の報告年

抗微生物剤の発売年	薬剤耐性病原体の報告年
1943 ペニシリン	1940 ペニシリン耐性黄色ブドウ球菌
商品化される前年、既に耐性の報告がありました。	1965 ペニシリン耐性肺炎球菌
1950 テトラサイクリン	1959 テトラサイクリン耐性赤痢菌
1953 エリスロマイシン	1968 エリスロマイシン耐性肺炎球菌
1960 メチシリン	1962 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
1967 ゲンタマイシン	1979 ゲンタマイシン耐性肺炎球菌
1972 バンコマイシン	1988 バンコマイシン耐性腸球菌
	2002 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
1985 イミペネム	1998 イミペネム耐性腸内細菌科細菌
1985 セフトラジウム	1987 セフトラジウム耐性腸内細菌科細菌
1996 レボフロキサシン	1996 レボフロキサシン耐性肺炎球菌
2000 リネゾリド	2001 リネゾリド耐性黄色ブドウ球菌
	2000 超多剤耐性結核菌
	2004/5 汎耐性アンシノトバクター・緑膿菌
	2009 汎耐性腸内細菌科細菌

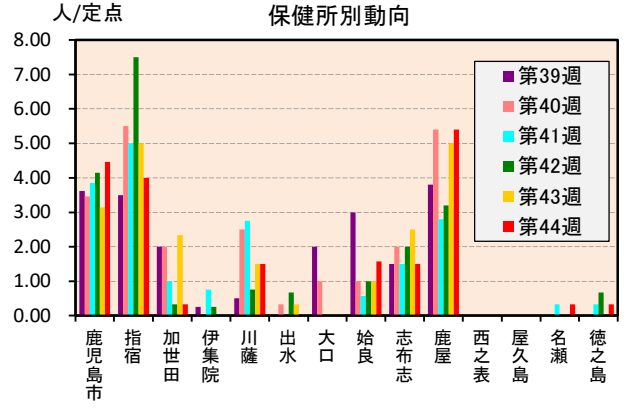
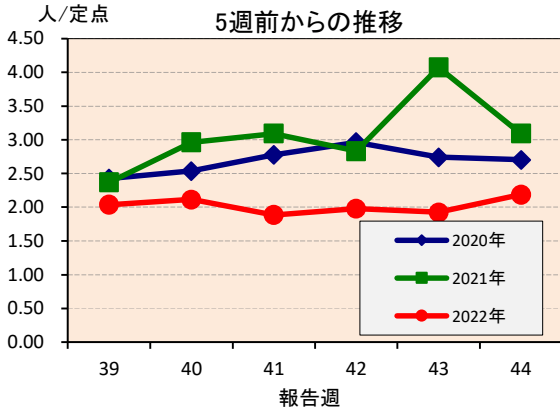
※ 抗微生物剤の開発は、1980年代をピークに減少しています。



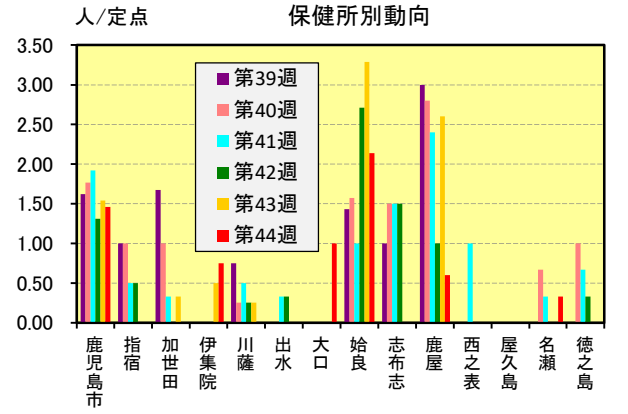
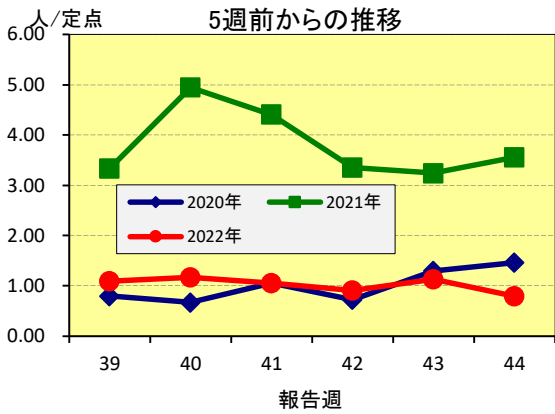
資料:厚生労働省の薬剤耐性AMR対策アクションプラン等をもとに作成

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

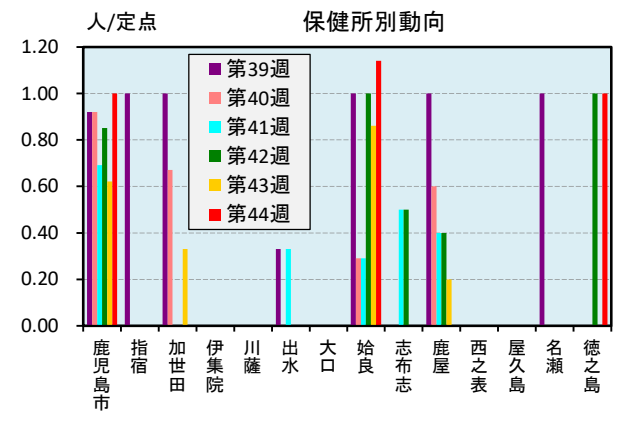
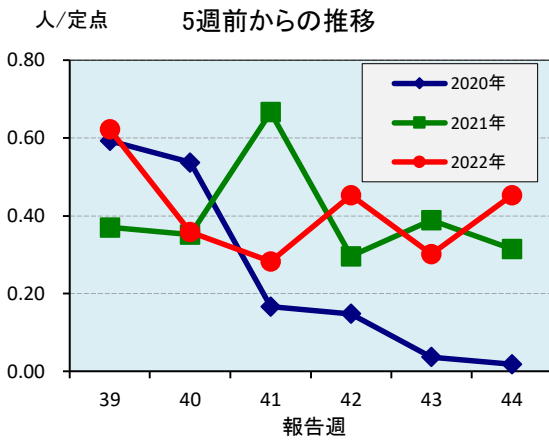
(1) 感染性胃腸炎



(2) 手足口病

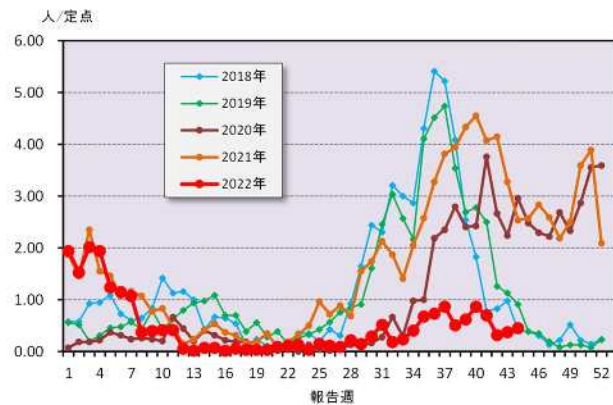


(3) ヘルパンギーナ

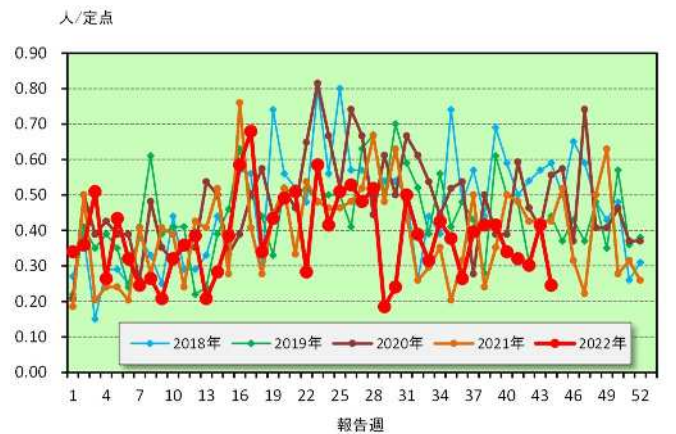


☆注目される感染症の発生状況

★ RSウイルス感染症（鹿児島県）



★ 突発性発しん（鹿児島県）



☆定点報告疾患の発生状況

2022年	(報告週)	第44週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2022年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	31
小児科定点	咽頭結膜熱	7	0.13	1,037
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.09	666
	○ 感染性胃腸炎	116	2.19	12,571
	○ 水痘	9	0.17	175
	手足口病	42	0.79	2,976
	○ 伝染性紅斑	9	0.17	35
	突発性発しん	13	0.25	892
	○ ヘルパンギーナ	24	0.45	526
	○ 流行性耳下腺炎	3	0.06	92
	○ RSウイルス感染症	24	0.45	1,158
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	95
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	9
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	4
報告数合計		252	0	20,270

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
		(2022年39週)	(2022年40週)	(2022年41週)	(2022年42週)	(2022年43週)	(2022年44週)
インフルエンザ	報告数	-	2	2	1	-	-
	定点当り	-	0.02	0.02	0.01	-	-
RSウイルス感染症	報告数	33	46	37	17	20	24
	定点当り	0.62	0.87	0.70	0.32	0.38	0.45
咽頭結膜熱	報告数	10	8	5	8	11	7
	定点当り	0.19	0.15	0.09	0.15	0.21	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6	9	6	14	11	5
	定点当り	0.11	0.17	0.11	0.26	0.21	0.09
感染性胃腸炎	報告数	108	112	100	105	102	116
	定点当り	2.04	2.11	1.89	1.98	1.92	2.19
水痘	報告数	3	2	4	5	7	9
	定点当り	0.06	0.04	0.08	0.09	0.13	0.17
手足口病	報告数	58	62	56	48	60	42
	定点当り	1.09	1.17	1.06	0.91	1.13	0.79
伝染性紅斑	報告数	-	-	-	1	1	9
	定点当り	-	-	-	0.02	0.02	0.17
突発性発しん	報告数	22	18	17	16	22	13
	定点当り	0.42	0.34	0.32	0.30	0.42	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	33	19	15	24	16	24
	定点当り	0.62	0.36	0.28	0.45	0.30	0.45
流行性耳下腺炎	報告数	4	-	2	1	-	3
	定点当り	0.08	-	0.04	0.02	-	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	1	2	2	1	1	-
	定点当り	0.14	0.29	0.29	0.14	0.14	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	1	-
	定点当り	-	-	-	-	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	1	-	-
	定点当り	-	-	-	0.08	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2022年44週(10月31日～11月06日)

総数	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿兒島市	0	0.00	24	0.45	7	0.13	5	0.09	116	2.19	9	0.17	42	0.79	9	0.17	13	0.25
指宿	-	-	18	1.38	-	-	1	0.08	58	4.46	7	0.54	19	1.46	-	-	6	0.46
加世田	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	8	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.33	-	-	3	0.75	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	1	0.25	1	0.25	6	1.50	-	-	-	-	-	-	1	0.25
出水	-	-	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
大口	-	-	4	4.00	-	-	2	2.00	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.57	-	-	15	2.14	9	1.29	5	0.71
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	4	0.80	-	-	27	5.40	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-

総数	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真性なきむ)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム類は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
鹿兒島市	24	0.45	3	0.06	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
指宿	13	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	8	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級別疾病別患者報告数及び定ポイントあたり報告数（男女合計）
2022年44週(10月31日～11月06日)

インフルエンザ 報告数 定ポイントあたり	合計	年齢階級																				
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(小児科定ポイント報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
RSウイルス感染症	24	3	5	10	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.45	0.06	0.09	0.19	0.06	0.04	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜炎	7	-	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.13	-	0.02	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.09	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	116	2	8	22	4	13	8	8	7	6	4	7	18	5	4	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	2.19	0.04	0.15	0.42	0.08	0.25	0.15	0.15	0.13	0.11	0.08	0.13	0.34	0.09	0.08	-	-	-	-	-	-	-
水痘	9	-	-	-	-	2	1	1	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.17	-	-	-	-	0.04	0.02	0.02	0.08	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	42	-	6	17	13	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.79	-	0.11	0.32	0.25	0.04	0.02	0.04	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	9	-	3	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.17	-	0.06	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	13	-	3	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.25	-	0.06	0.17	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	-	2	8	8	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.45	-	0.04	0.15	0.15	0.08	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	0.06	-	-	-	-	-	-	-	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(眼科定ポイント報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(基幹定ポイント報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～					
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定ポイントあたり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-